

2015 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日までの間に札幌医科大学附属病院病理診断科において細胞診検査で膵腺房細胞がんおよび膵内分泌腫瘍、solid pseudopapillary tumor、膵管がん（膵がん）の診断を受けられた方へ

—「膵腺房細胞がんの細胞学的特徴の検討」へご協力のお願い—

研究機関名 札幌医科大学附属病院
研究機関長 渡辺 敦
研究責任者 札幌医科大学 医学部病理診断学講座 助教 菅原太郎
研究協力者 札幌医科大学附属病院 病理部 技師 木戸朋美
札幌医科大学附属病院 病理部 係長 蓑島敦志
札幌医科大学附属病院 病理部 主任技師 森谷純

1. 研究の概要

1) 研究の目的

札幌医科大学附属病院病理部・病理診断科において診断された膵腺房細胞がんの症例を対象に細胞像を調べます。超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）の普及により膵腫瘍の良悪性診断や質的診断の他にも様々な適応が広がっており、組織診・細胞診が行われる機会が増加しています。膵腺房細胞がんは、病理学的にも遺伝子学的にも膵管がん（膵がん）とその特徴は全く違うことから、治療方針決定のために治療前の正確な診断は必須です。しかしながら、代表的な膵腫瘍は膵管がん（膵がん）であり、膵腺房細胞がんは発生頻度が低く、実際にその細胞診断を経験することが少ないです。そこで今回は、膵腺房細胞がんの診断において有用となる細胞学的特徴について検討します。

2) 研究の意義・医学上の貢献

膵臓の腫瘍の多くは膵管由来の膵がんであり、膵内分泌腫瘍、solid pseudopapillary tumor も見られます。これらの腫瘍と腺房細胞がんとの鑑別は重要です。また、EUS-FNA により膵腺房細胞がんと診断することは、治療方針の選択や予後の予測に有用とされます。早期発見に寄与するために有用となる細胞学的特徴を検討し、検査の感度上昇を目指して精査につなげていくことが有益になると思われます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

札幌医科大学附属病院病理部・病理診断科（札幌医科大学医学部病理診断学）において 2015 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日に施行され、悪性と判定した症例のうち組織学的、および細胞診学的に腺房細胞がんと診断された 5 症例を中心にして検討を行い、細胞像を比較するため鑑別疾患とされる膵内分泌腫瘍、solid pseudopapillary tumor や膵管がん（膵がん）と診断された症例 5 症例ずつを対象として用いる予定です。

2) 研究期間

病院長承認後～2026 年 3 月 31 日

3) 予定症例数

20 症例を予定しています。

4) 研究方法

札幌医科大学附属病院病理部・病理診断科（札幌医科大学医学部病理診断学）で診断された細胞診標本を用いて、膵腺房細胞がんの診断において有用となる細胞学的特徴を検討し、類似した細胞像を呈する疾患との鑑別において手掛かりになると思われる細胞所見を纏める。

5) 使用する試料

この研究に使用する試料として、診断後に保管されている細胞診標本使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないよう プライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学附属病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 細胞診断・組織診断の情報

試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月 1 日

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後終了報告書を提出した日から 5 年間、札幌医科大学病理診断科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の試料・情報は病理診断科内の施錠可能な保管庫に保存します。なお、この研究で得られた結果の二次利用の可能性はありません。

8) 試料・情報の管理責任者

この研究で使用する試料・情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学附属病院 病院長 渡辺 敦

9) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

10) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2025 年 10 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続きを

して、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。ご連絡頂いた時点が上記お問合せ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。あなたが誰であるかわからない形にして、研究者の集まる学会での発表や、学術論文で公表をしますので、ご了解ください。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学 医学部病理診断学講座

氏名：菅原太郎

電話：011-688-9681（平日のみ：9時00分～17時30分）

ファックス: 011-615-1418

電子メールアドレス: surgpathol@sapmed.ac.jp